ファミリーレコード プラス版 マニュアル

人物相関図・家系図作成ツール

はじめに

ファミリーレコード プラス版は、家系図・人物相関図・相続関係説明図などの「図」を作るためのソフトです。人物カードを置いて家族関係を設定すると、夫婦線・親子線などの関係線が自動で引かれ、カードを動かしても線が追従します。複数枚にわたる大きな図でも、用紙間の位置合わせは不要です。

> ※ プラス版は作図専用です。相続人の判定や相続分の計算は行いません（相続計算は S1 版・ベーシック版の機能です）。

基本的な使い方

1. **人物カードを作る**：「人物カード追加」でカードを作り、ダブルクリックで開く編集パネルに氏名・生年月日などを入力します。
2. **人物関係を設定する**：編集パネルで配偶者・親・子・関係人物を選ぶと、関係線が自動で引かれます。入力や関係の設定は、カードが横書きになる「横書モード」で行うと見やすくなります。
3. **配置をととのえる**：「縦書モード」または「整列」でカードを世代順に並べ、必要に応じてドラッグで微調整します。
4. **仕上げる**：補助パレットでタイトルや文字、家紋などを加えます。
5. **出力する**：完成した図を「Word 出力」「PDF 出力」「PNG 出力」で書き出します。作業内容は「保存」でファイルに残せます。

目次

1. 画面の構成
2. 基本操作
3. 人物カードの作成と編集
4. 縦書モードと横書モード
5. 関係線
6. 整列
7. 設定

8. 補助パレット
9. 新規・保存・読込
10. 出力（Word・PDF・PNG・画像合成）
11. 管理台帳
12. 戸籍情報・必要戸籍請求整理表
13. 体験版について
14. データの取り扱い
15. 製品キーの更新とお問い合わせ

1. 画面の構成

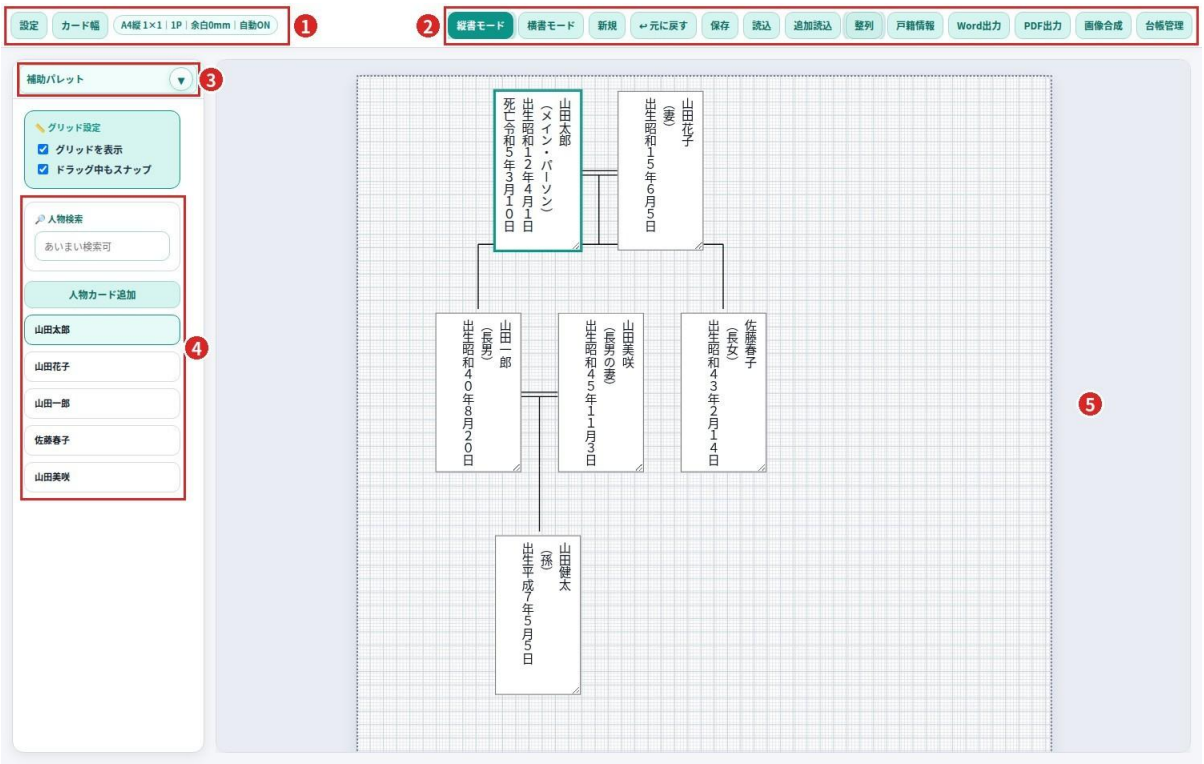


図１　メイン画面（縦書モードで６人の家系図を作成した例）

番号	名称	内容
①	設定・カード幅・用紙の表示	「設定」で文字・用紙・人物カード・関係線の設定を変更します。 「カード幅」でカードの大きさを調整します。 右の欄には、現在の用紙サイズ・枚数・余白が表示されます。
②	上部のボタン	縦書モード・横書モードの切替、新規・元に戻す・保存・読込・追加読込、整列、戸籍情報、各種出力、台帳管理を行います。
③	補助パレット	タイトル・文字・線・家紋などを図に加える道具箱です。▼を押すと開きます（8 章）。

④	人物検索・人物一覧	人物検索：氏名の一部で絞り込めます（あいまい検索）。 人物カード追加：新しいカードを作ります。 人物一覧：クリックすると、そのカードが選択されます。
⑤	キャンバス	人物カードを並べて図を作る場所です。点線の枠が用紙の範囲で、印刷・出力したときのおさまりを確認しながら配置できます。

2. 基本操作

マウスの操作

操作	内容
左クリック	人物カード、関係線、文字などを選択します
ダブルクリック	人物カードの編集パネルを開きます
ドラッグ	選択した人物カードや文字を移動します
マウスホイールを回す	画面全体を拡大・縮小します
ホイールを押しながらドラッグ	拡大しているときに、キャンバスを上下左右に動かします

ホイールでの拡大・縮小とキャンバスの移動は、人物カードが画面の下のほうにある場合や、複数ページの図を作っている場合に便利です。

キーボードの操作・ショートカット

キー	機能
ESC キー	選択を解除します（何もない場所をクリックしても解除できます）
Delete キー	選択中の人物カード、線、文字を削除します
Ctrl ＋ Z	直前の操作を元に戻します（上部の「元に戻す」と同じ）
Q キーを押しながら W キー	全カードを選択します
Q キーを押しながら E キー	人物カードと文字・画像などをすべて選択します（補助パレットの「全選択」と同じ。もう一度で解除）
A キーを押しながら S キー	補助パレットを画面の中央に呼び出します
Z キーを押しながら X キー	新しい人物カードを、マウスの位置の近くに追加します
TAB キー／ENTER キー	編集パネルで次の入力欄へ移ります（数値の欄では ENTER キー）

※ ショートカットは、文字の入力中（入力欄にカーソルがあるとき）は働きません。

3.　人物カードの作成と編集

人物カードを追加する

左の「人物カード追加」を押すか、Z キーを押しながら X キーを押すと、新しい人物カードがキャンバスに追加されます。

人物カードを選択・移動する

人物カード、または左の人物一覧をクリックすると、そのカードが選択されます。カードをドラッグすると移動でき、夫婦線・親子線などの関係線も一緒に動きます。

編集パネル

人物カードをダブルクリックすると「人物情報の編集」パネルが開きます。入力が終わったら「保存」を押してください。



図 2　人物情報の編集パネル（上部）

欄	内容
メイン・パーソン	図の中心となる人物にチェックを入れます。カードに「(メイン・パーソン)」と表示されます。その人物を中心として、続柄が決定されます。
氏名・カナ・性別	氏名とふりがな、性別を入力します。

続柄表記	カードに表示する続柄（長男・妻など）を入力します。
生年月日・死亡年月日	元号（延暦から令和まで）と年・月・日を入力します。現在年齢・享年は自動で表示されます。
本籍・住所・登記簿上の住所	入力した内容をカードに表示します。「非表示」にチェックを入れると、カードには表示しません。
配偶者・婚姻情報	「配偶者追加」で配偶者を選び、現在の配偶者か前の配偶者かを選びます。婚姻年月日・離婚年月日を入力し、「表示」にチェックを入れるとカードに表示されます。
親情報・縁組情報	「親追加」で父・母を選び、親区分（父・母、認知の有無、養父・養母〈普通・特別〉）を設定します。
子情報・縁組情報	「子追加」で子を選び、続柄と身分（嫡出子・非嫡出子・養子・養女）を設定します。
その他関係情報	友人・師弟など、家族以外の関係を矢印付きの曲線で結びます（下記）。
戸籍情報・転籍情報	戸籍の記載事項（年月日・内容・本籍地・戸主／筆頭者）と転籍の前後を記録します。
メモ	メモを入力し、「メモ表示」「メモ代表示」でカードに表示できます（下記）。
必要戸籍請求整理表・戸籍取得済	その人物の戸籍の請求・取得状況を記録します（12 章）。
入力復旧	入力欄に文字が入力できなくなったときに押すと、入力できる状態に戻ります。

家族関係を設定する

配偶者・親・子は、すでにキャンバスにある人物カードの中から選びます。片方のカードで設定すると、相手のカードにも同じ関係が自動で反映されます。

- 親の側から子を設定したとき、その親に現在の配偶者がいれば、「配偶者ももう一方の親にしますか」と確認が出ます。
- 子の身分を養子・非嫡出子に直した場合は、自動で付いた配偶者側の親子関係が外れます。

その他関係情報（人物相関図）

「関係追加」を押し、相手と関係名（例：親友、恩師）を入力すると、2 人のカードが矢印付きの曲線で結ばれます。人物相関図を作るときに使います。

項目	選べる内容
線の種類	実線・点線・破線
線の色	黒（標準）・赤・青・緑・橙・紫・灰
矢印	なし・相手へ・自分へ・両方
曲がる向き・曲がりの強さ	自動・反対側／弱・中・強

メモをカードに表示する

メモ欄に入力した内容を、人物カードに表示できます。

- **メモ表示**：カードの表示項目にメモを加えます。表示位置は「設定」の「項目の表示順序」で決まります。
- **メモ代表示**：カードにメモだけを表示します。氏名などの代わりに自由な文章を見せたいときに使います。
- メモ内の「*」「＊」は、カード上では空白として表示されます。文字の位置合わせに利用できます。

4. 縦書モードと横書モード

プラス版には、カードの向きと並べ方を切り替える２つのモードがあります。起動直後は縦書モードです。上部の「縦書モード」「横書モード」ボタンで切り替えます。

モード	カード	並び方	向いている作業
縦書モード	縦長・縦書き	親→子→孫を上から下へ	家系図の仕上げ・出力
横書モード	横長・横書き	親→子→孫を左から右へ	氏名などの入力、親子・配偶者の設定

ボタンを押すと、カードの間隔を決める画面が開きます。スライダを動かすと右側の見本だけが動きます。「OK：この間隔で切替・整列」を押すと、カードの向きが切り替わり、この間隔で整列されます。「標準に戻す」で初期の間隔に戻ります。

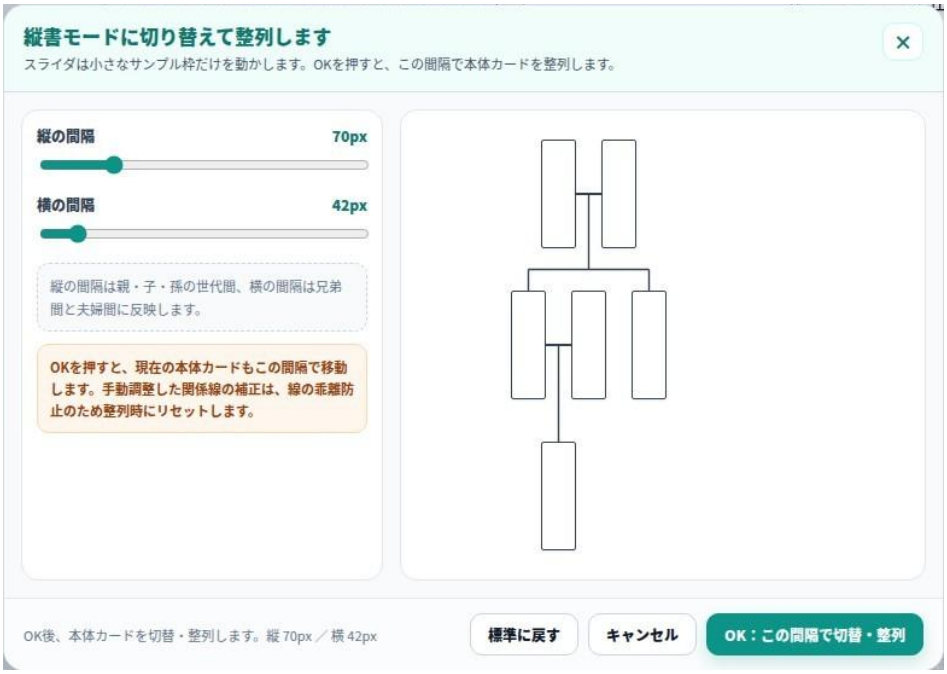


図３　縦書モードの間隔の設定

※ 縦書モードでは、縦の間隔が世代の間、横の間隔が兄弟・夫婦の間に効きます。横書モードでは、横の間隔が親から子への距離、縦の間隔が兄弟・夫婦の間に効きます。

※ 切り替えると、手で調整した関係線の位置はリセットされます（線のずれを防ぐため）。

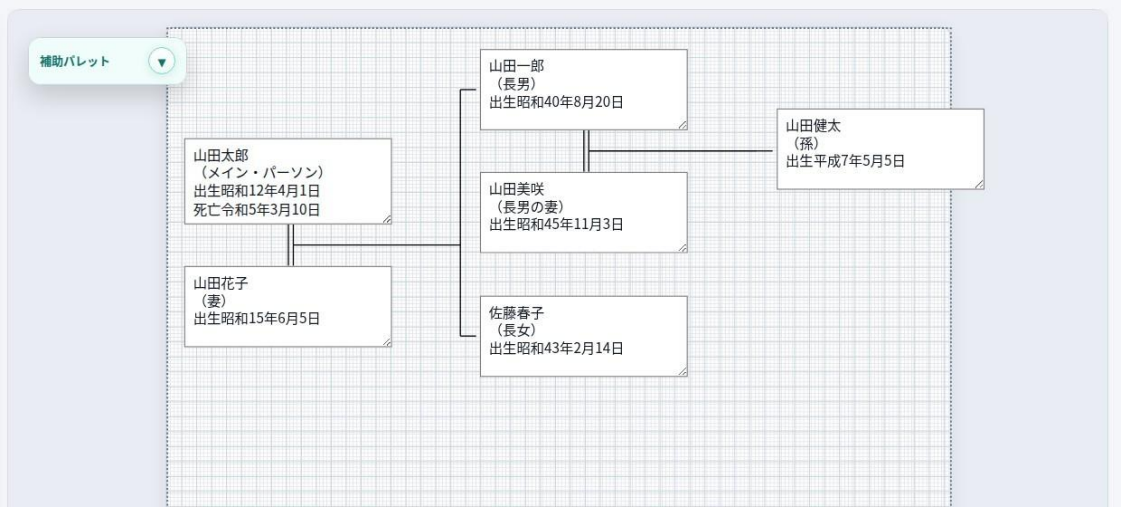


図４　横書モード（図１と同じ家族）

5.　関係線

ファミリーレコードでは、人物同士の関係を線で表示します。関係線は家族関係の設定から自動で引かれ、カードを動かすと追従します。

線の種類	意味
二重線	夫婦関係
単線	親子関係
点線	養子関係（養親と養子の間）
矢印付きの曲線	その他関係情報（人物相関図の関係）

- 線はクリックしてドラッグすると位置を調整できます。人物カードを動かすことによっても調整できます。
- 縦書モードの夫婦線は、「設定」→「関係線」で「① 二重線（初期設定）」と「② 下でつなぐ線」を選べます。②では夫婦それぞれのカードの下から線を下ろして結び、子への線はその中央から出します。離婚した夫婦は破線で表示されます。

関係線を削除する

関係線をクリックして選び、補助パレットの「線削除」を押すと、その線に関係する人物間の関係設定が解除されます。人物カードそのものは削除されません。

軽量モード

人物が多く動作が重いときは、補助パレットの「軽量」を押すと、関係線の表示を一時停止してカードの操作を軽くできます。もう一度押すと元に戻ります。

6. 整列

「整列」ボタンを押すと、人物カードが世代順に自動で並びます。縦書モードでは親→子→孫を上から下へ、横書モードでは左から右へ並べます。夫婦は並べて配置されます。

※ 整列のあとも、カードはドラッグで自由に動かせます。整列は「元に戻す」で取り消せます。

7. 設定

上部の「設定」を押すと、文字・用紙・人物カード・関係線の設定をまとめて変更できます。



図５　設定（文字・用紙の部分）

分類	項目	内容
文字	フォント	MS ゴシック・MS 明朝・游ゴシック・HG 行書体から選びます
	フォントサイズ	6〜26pt から選びます。氏名だけ別の大きさにすることもできます
	数字設定（縦書き出力時）	算用数字（２０）か漢数字（二十）か、縦に積むか横に並べるかを選びます
用紙	用紙サイズ・向き	A4 縦・A4 横・A3 横から選びます

	横方向・縦方向の枚数	用紙を何枚つなげるかを設定します（最大 横 30 枚 × 縦 30 枚）
	余白	上下左右の余白を mm で設定します。 「余白内に全体を自動調節して収める」で、図全体を余白の枠内に収めます
	今の配置で自動調節／1 枚×1 枚に戻す	今のカード配置に合わせて用紙を調節します／用紙を 1 枚に戻します
人物カード	項目の表示順序	氏名・続柄・出生・死亡・本籍・住所・メモなどの表示順を▲▼で入れ替えます。上の項目ほど、縦書きでは右側、横書きでは上側に表示されます
	出生・死亡の表示名	「出生」「死亡」の文字を日付の前に付けるか、後に付けるかを選びます
	表示／非表示	続柄・出生・死亡をカードに表示するかを切り替えます
	横書時の続柄と氏名	横書きのカードで「（長男） 山田一郎」のように続柄と氏名を 1 行にまとめます
関係線	縦書時の夫婦線表示	① 二重線（初期設定）／② 下でつなぐ線（5 章）

カード幅（カードの大きさ）

上部の「カード幅」を押すと、カードの幅と縦幅を調整できます。カードを選択してから押すと選択中のカードが、選択せずに押すと全カードが対象になります（「自動調整」は、カードを選択してから使います）。

- **自動調整**：文字がちょうど収まる大きさに、カードを広げたり縮めたりします。縦書きのカードでは、各項目が折り返さない長さを優先します。全カードをそろえたいときは、Q キーを押しながら W キーで全カードを選択してから使います。
- **自動調整の方法（複数選択時）**：「1 枚ずつ文字量に合わせる」か「大きさをそろえる」かを選べます。
- カードの右下の角をドラッグして、1 枚ずつ大きさを変えることもできます。

グリッド設定

キャンバスにグリッド（方眼）を表示できます。グリッドを有効にすると、人物カードの端がグリッドに沿って配置されるため、カードの位置を揃えやすくなります。

項目	内容
グリッドを表示	グリッドの表示・非表示を切り替えます
ドラッグ中もスナップ	カード移動中もグリッドへ吸着させるかを切り替えます

8. 補助パレット

画面左上の「補助パレット」の▼を押すと開きます（A キーを押しながら S キーで、画面の中央に呼び出すこともできます)。図にタイトルや文字、線、画像などを加えるときに使います。



図 6　補助パレット（左：上半分　右：下半分）

分類	項目	内容
基本	タイトル設定	図のタイトルを入力・編集します（横書き・縦書き、文字の大きさ、太字を選べます）
	文字追加	キャンバスに文字を追加します
	奥書き	図の奥書きを入力・編集します
	付箋紙	キャンバスに付箋紙を貼って書き込めます
	マスキング	図の中の見せたくない部分を囲んで隠します。隠した状態で表示・出力できます
	ピクチャー	パソコンにある画像ファイルを図に貼り付けます
	家紋	家紋の一覧から選んで図に貼り付けます。貼った家紋は拡大縮小・複製・削除ができます
線の定型追加	二重線・単線・点線	夫婦・親子・養子をあらわす線を、図に自由に書き加えます
	波線	波線を書き加えます（省略や区切りの表示に使えます）
編集	表示/非表示	選択した要素の表示・非表示を切り替えます
	複製	選択した要素を複製します（配偶者が設定された人物カードは複製できません）
	削除	選択中の要素を削除します
	線削除	選択した関係線に関係する人物間の関係設定を解除します（5 章）
	軽量	関係線の表示を一時停止して、カードの操作を軽くします（5 章）
カード	存命確認	死亡年月日が入力されていない人物のカードを紫色で強調します。出力には表れません
	グループ	管理台帳で作ったグループを選ぶと、そのグループの人物カードがまとめて選択されます
	↑文字上・↓文字下・←文字左・→文字右	人物カードの文字の表示位置を上下左右へ調整します。「文字位置リセット」で元に戻せます

	ピン止め	人物カードの配置をピン止めして、動かないようにします
	範囲移動	囲んだ範囲のカードやオブジェクトをまとめて移動します
	全カード選択	全カードを選択します。続けて「表示/非表示」などを押すと全カードに適用されます
	全選択	人物カードと、文字・ピクチャー・家紋・線などをすべて選択します。選択したままドラッグすると、全体が一緒に動きます。もう一度押すと解除します（Q キーを押しながら E キーでも同じ）
	全接続選択	夫婦線・親子線などの関係線をすべて選択します
出力	PNG 出力	図を PNG 画像で書き出します（10 章）

※ 文字追加・付箋紙などの入力画面では、Ctrl ＋ ENTER キーで確定できます。

9. 新規・保存・読込

ボタン	内容
新規	現在の内容を消して、新しい図を作り始めます（確認が表示されます）
元に戻す	直前の操作を取り消します（Ctrl ＋ Z キーでも同じ）
保存	作業内容を専用ファイル（.familyrecord）に保存します。 保存時に「暗号化しない」「暗号化して保存」を選べます。暗号化した場合は、読込時に同じパスワードが必要です
読込	保存したファイルを開きます。現在の内容は置き換えられます。 .familyrecord ファイルは、エクスプローラーでダブルクリックしても開けます（インストール版）
追加読込	別のファイルから人物カードを、今の図に追加します（1 回につき 10 枚まで）

追加読込したカードの扱い

追加読込したカードは、一時的な「追加状態」になり、まとめてドラッグで移動できます。配置が決まったら、追加したカードを右ダブルクリックし、「追加状態を解除しますか？」で「はい」を押すと、通常のカードとして扱われます。

※ 暗号化のパスワードを忘れると、ファイルを開けなくなります。パスワードは大切に管理してください。

※ S1 版・ベーシック版で保存したファイルも、プラス版で開けます。

10.　出力（Word・PDF・PNG・画像合成）

ボタンを押すだけで、簡単に出力を行うことができます。枚数が多い図でも、用紙間の位置合わせは不要です。出力には「設定」の用紙サイズ・向き・枚数が反映されます。

Word 出力

「Word 出力」を押すと、線の出力方式を選ぶ画面が開きます。

方式	内容
安定表示（図形）	水平・垂直の実線を細い長方形として出力します。傾きが起きにくい方式です
編集しやすい線（直線）	端点をドラッグして長さを調整しやすい方式です。Word の環境によっては、わずかな傾きや重なりが見える場合があります

PDF 出力

「PDF 出力」を押すと PDF プレビューが開きます。「－」「＋」で表示倍率を変えて確認し、

「PDF 作成」を押すと保存先を選んで PDF を作ります。作成した PDF は自動で開きます。

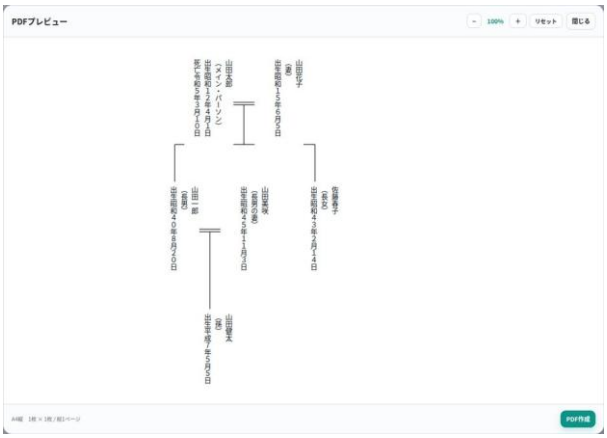


図 7　PDF プレビュー

PNG 出力

補助パレットの「PNG 出力」を押し、出力の内容を選んで「プレビュー表示」を押します。プレビューを確認して保存します。

項目	選べる内容
出力タイプ	カード枠あり（枠線は黒）／文字と関係線のみ
カードの塗り	透明（下の背景が透けて見えます）／白（カードの下を隠します）
画質	標準／高画質（画像が大きいときは時間がかかります）

※ PNG は背景が透明な画像で出力されます。背景・グリッド・余白の枠・選択枠・ピン止めやハイライトの目印は出力されません。

画像合成

上部の「画像合成」を押すと、別のウィンドウで「FR 画像合成」が開きます。背景（画像・PDF・サンプル背景）の上にプラス版で作った PNG を重ねて、オリジナルの家系図を作れます。PNG 出力のプレビューから「画像合成へ送る」を押すと、その図がそのまま画像合成に送られます。仕上がった画像は PNG または JPG で保存できます。

※ 画像合成のウィンドウは、本体を閉じると一緒に閉じます。

11.　管理台帳

上部の「台帳管理」を押すと、管理台帳が開きます。図に登場する人物の情報を一覧で確認・管理できます。最新の内容を見るときは「再読込」を押してください。



図 8　管理台帳（人物カード情報）

画面	内容
人物カード情報	全員の基本情報（ID・氏名・性別・続柄表記・推定続柄・年齢・生年月日・死亡年月日・本籍・住所など）と、配偶者・子の情報を一覧にします。 「整合チェック」で入力の矛盾を、「ID 整合性」で人物 ID の重複や欠けを点検できます
住所録	死亡年月日が入力されていない人物の住所・本籍を一覧にします。 「連絡先１」「連絡先２」「備考」は、この画面で直接入力できます（ENTER キーで次の行へ）。入力した内容は、図の保存ファイルに一緒に保存されます
グループ	人物をグループに分けて管理します。「グループ追加」でグループを作り、構成員のポジション・順・備考を設定します。 作ったグループは、補助パレットの「グループ」でまとめて選択できます。変更したら「保存」を押してください



図９　住所録

12.　戸籍情報・必要戸籍請求整理表

上部の「戸籍情報」を押すと、次の２つの画面を切り替えて使えます。

画面	内容
戸籍情報一覧	各人物の婚姻情報・縁組情報・転籍情報の「前」と「後」に入力した戸籍を集めて一覧にします（人物カード本体の本籍は含みません）
必要戸籍請求整理表	戸籍の請求・取得の状況（請求中・取得済）を管理します。表示対象の人物を選ぶと、その人専用の整理表として編集できます。 CSV 出力に対応しており、Excel や Word で作った戸籍請求書の様式に活用できます

※ 整理表の行は、人物カードの編集パネルにある「📋 必要戸籍請求整理表」ボタンから人物ごとに作れます。氏名・生年月日・死亡年月日・続柄表記は人物カードから自動で反映されます。

13.　体験版について

体験版は、製品版の機能や操作性を確認していただくための無償版です。製品版との違いは次の 2 点です。

項目	体験版	製品版
用紙の枚数	横 1 枚 × 縦 1 枚まで	横 30 枚 × 縦 30 枚まで
家紋	使えません	使えます

※ 体験版では、用紙 2 枚以上で作成されたファイルは開けません。製品版をご利用ください。

14.　データの取り扱い

ファミリーレコードは、人物・戸籍・親族関係の情報をクラウドへ送信せず、作業端末内のみで処理する設計です。特に戸籍の情報には、氏名・生年月日・住所のほか、婚姻・離婚・養子縁組・認知・死亡、親族関係といったセンシティブな事項が含まれ、万一外部に流出した場合の影響が大きいことから、通信そのものを行わない構成を採用しています。

- 保存ファイルやバックアップは、利用者ご自身で管理してください。重要なファイルは、外付けの記録媒体などに定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
- パソコンを他の人と共用する場合や、ファイルをメールで送る場合は、「暗号化して保存」を利用してください。
- 作成した図の内容（続柄・親族関係など）は、戸籍謄本などの原資料と照らし合わせて確認したうえでお使いください。

15.　製品キーの更新とお問い合わせ

製品キーは、販売時期により変更されることがあります。

以前にご購入いただいた方で、再インストールの際などにお手元の製品キーが通らないときは、ご購入時の氏名・メールアドレス・購入日を添えて、下記の連絡先までご連絡ください。ご購入を確認のうえ、新しい製品キーをお送りします。

連絡先：lifeaitem@outlook.com　　製作：ファミリーレコード